

# 「明山茶業株式会社」 40年の歩み

## 弊社のほじまりは 第二次「烏龍茶ブーム」

新型コロナウイルス感染症の影響により、仕事はもちろんプライベートで中国や台湾に行けず、お茶の産地の状況確認やメーカーへの売れ筋の聞き込みなどはSNSに頼る日々を過ごしています。これまで、現地へ足を運び、自分の目で見て、耳で聞いてくるのが当たり前でしたので、コロナ禍から1年以上が経過した今でも、戸惑いや不安はありません。

そんな中、2021年6月26日に、弊社「明山茶業株式会社」は、創業40周年を迎えることができました。40年前の1981年の日本は、高度経済成長を遂げたあとで、健康を意識した食事や飲料が注目されはじめていたところです。同年、世界初の無糖茶飲料として伊藤園の「缶入りウーロン茶」が全国発売。その数か月後には、サントリーも缶入り



明山茶業株式会社 社長 張文昕  
取締役 張文昕

1988年上海より来店。名門中国料理店を経て現職。中国茶高級評茶師、中国茶高球、好食家。特技は卓球、好きな食べ物は魚屋の刺身。

烏龍茶を発売します。そして、1970年代後半に一度下火となっていた烏龍茶ブームが再燃。

そして、このブームに着目したのが、弊社の創業者・砂押雅夫です。砂押は、輸入商社で培った経験から「中国茶やハーブティーは、これから日本国民の生活を支えるものになる」と考え、創業を決意。取引先となった台湾の老舗茶屋にちなみ、「明山茶業株式会社」をスタートさせました。

## 台湾からインド、中国へ 取引を拡大させていく

その後の1987年、弊社は幕張メッセで行われたアジア最大級の食品・飲料専門展示会「FOOD EX JAPAN」に初出展。そして翌年1988年、弊社は日本ではまだ知名度の低い「紅烏龍茶」の茶葉の原料を台湾から輸入。某大手メーカーは、この茶葉を使った日本初の台湾茶原材

料「赤ウーロン茶」を、缶・ペットボトル・ティーバッグの形で発売。紅烏龍茶の原料供給により台湾茶業に貢献したとして、砂押は「台湾区製茶工業同業公會」より台湾茶の輸出貢献賞を受賞します。

その後の1990年には、商社勤めで海外にネットワークを持っていた弊社役員・砂押真樹子の働きで、インド・セイロン紅茶の取り扱いは開始。1997年には、中国大陸より中国茶の取扱いを本格化させ、福建省、広東省、浙江省、安徽省など、お茶の主要産地から輸入をはじめます。さらに、日本で需要が多いジャスミン茶の安定供給のため、福建省にあるジャスミン茶の加工工場と専属契約を締結することに。

## 今後もお茶を通じて 豊かな社会の実現を

2000年代以降は多国籍料理店やダイニングカフェの人気

により、オリジナルティーの企画やOEM製造依頼が急増します。とくに、業務用のティーバッグの需要が高まり、ハーブティーやブレンドティーの人気上昇。インターネットの普及もあり、全国通販業者に製品を納めることも増えました。タピオカドリンク用、フルーツティー用などのお茶の原料も取り扱うようになりました。

コロナ禍により、直接人が対面する機会は減り、茶葉の需要に大きな打撃を与えています。しかし、弊社が無事に創業40周年を迎えられたのは、多くのお客様のご指導とお力添えのおかげと深く感謝しております。これからも50、100周年に向けて、お客様に喜ばれるお茶を提供し続けること。そして、さまざまなお茶を通じて、人々の豊かな生活を支えるとともに、社会貢献活動に取り組みで参ります。今後とも、何卒ご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

